

【児童・生徒の実態】
 ○明るく、元気で素直である。
 ○互いに協力し合い、人のために頑張ることができる。
 ○発信力に課題がある。
 ○粘り強さに課題がある。
 ○やるべきことはやるが、自分から進んで取り組むことに課題がある。

【地域の実態】
 ○自然が豊かである。
 ○特産品がたくさんあり、生産者同士のつながりが強く、集落活動センターの運営が活発である。
 ○村の教育方針が子育て世代にやさしく、地域で学校を見守ろうとする協力的な体制である。
 ○地域の結びつきが強く、食や伝統産業を通じた学習に協力的である。

【中学校の教育目標】
 地域とともに輝く学校 ～かかわり、学び合い、生きる力を育む教育の創造～

【小学校の教育目標】
 一人一人が元気がかがやく学校 ～心豊かにたくましく、学びを楽しむ児童の育成～

【保護者の願い】
 ○コミュニケーション能力の向上。
 ○自分で考えて行動する力をつけてほしい。
 ○粘り強い力をもってほしい。
 ○健康な体づくり。

【生活科の目標】
 地域の人・もの・ことに関わる具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

知識及び技能の基礎	思考力・判断力・表現力の基礎	学びに向かう力、人間性等
活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴や良さ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けるようにする。	身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるようにする。	身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養う。

【地域の願い】
 ○地域を大切に作る心の醸成。
 ○発信力を高める。
 ○地域との関わりを多くもつ。
 ○人と関わる力を育てる。

【総合的な学習の時間の目標】
 探究的な見方・考え方を働かせ、地域の人・もの・ことに関わる総合的な学習を行うことを通して、自ら考え主体的に課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
地域の人・もの・ことに関わる学習の過程において、課題解決に必要な知識及び技能を身に付け、地域のよさや特徴に気付き、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることに気付く。	地域の人・もの・ことの中から課題を見だし、その解決に向けて、集めた情報を基に考察したり、まとめて表現したりする力を身に付けることができるようにする。	地域の人・もの・ことについての探究的な学習に主体的・協力的に取り組むとともに、互いに認め合いながら地域社会に進んで参画しようとする態度を育てる。

ステージ	I 期		II 期		III 期		IV 期		
学年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	中 1	中 2	中 3
テーマ	村を楽しもう		村を知ろう		村と関わろう		村に貢献しよう		
探究課題	【生活科の内容】 自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ		村で活躍する人々の思いや願い	村の自然環境（山・川・海）やそれを守る人々の取組や思い	村の特産品とそれに関わる村の生産者	村の安全な町づくりや防災の取組を支援する人々	村の産業の活性化に向けて努力する人々と地域社会	働くことの意味や働く人々の夢や願い	町づくりや地域活性化のために取り組んでいる人々や組織・地域への貢献
探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力	知識及び技能	・活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付く。(知識の基礎)	知識 村で活躍する人々には、思いや願いがあることが分かる。	村の環境を守る人々の思いや願いについて理解する。	村の財産(人・もの・こと)を未来に残すために、様々な人の思いやものの価値を理解する。	防災に関わる人それぞれの思いについて理解を深める。	村の産業のよさや課題及びそれらに関わる人の思いや願いを理解する。	地域の方々の仕事に対する姿勢や願いに気付き、働くことの意味や価値を理解する。	町づくりや地域活性化のために地域活動に参画することが、地域の新しい価値の創造につながっていることを理解する。
		・生活上必要な習慣や技能を身に付ける。(技能の基礎)	技能 挨拶をしたり、電話や手紙などを使うなど村の人と適切に接することができる。	状況に応じて調査を行ったり、村の人や専門家から情報収集したりするなど適切に接することができる。	村に昔からあるものを大切に扱い、見学やインタビューなど状況に応じて村の人と適切に関わることができる。	災害から身を守るために、自助、公助、共助の考えを基に村の人と関わることができる。	村の産業に関わる見学やインタビューなど、相手や場面に応じた方法で実施することができる。	目的に合わせて情報を収集することができ、情報に応じて、適切に情報を蓄積することができる。	収集したい情報に合わせて、適切な方法で効率的に情報を収集し、蓄積することができる。
			探究的な学習のよさの理解 村のために尽くしているたくさんの人々がいることへの理解は、村の人々と関わりながら探究的に学んだことによる成果であると気付く。	村の人々の思いや願い、努力によって、村の環境が守られていることへの理解は、村の人々と関わりながら探究的に学んだことによる成果であると気付く。	村の人々の思いや願い、努力によって、村の農業が受け継がれていることへの理解は、村の人々と関わりながら探究的に学んだことによる成果であると気付く。	村の人々の思いや願い、努力によって、村の人々の命が守られていることへの理解は、村の人々と関わりながら探究的に学んだことによる成果であると気付く。	村の産業の課題解決のために様々な立場の人々や組織が支え合い、協力し合っていることへの理解は、村の産業に関わる人々と関わり合いながら、探究的に学んだことによる成果であると気付く。	地域にある様々な職業に就く人々の思いを知ることや、働くことの意味、価値の認識の理解は、情報が多面的に見ながら働くことと自分たちの生活との関係を探究的に学んだことによる成果であると気付く。	自らの行為が未来社会に深く関わっていることへの理解は、町づくりや地域活性化について探究的に学んだことによる成果であると気付く。
思考力、判断力、表現力等	・身近な人々、社会及び自然などの対象を自分との関わりで捉え、対象のもつ特徴や価値を見いだす。(捉える)	課題の設定 身近な課題を設定するとともに、解決に必要な調査方法を明確にしながらいずれかの準備をしたり、取り組みの順番を考えたりすることができる。	情報の収集 課題解決に必要な情報を集めることができる。	整理分析 集めた情報を比較し、観点ごとに分類し、表などを用いて整理することができる。	まとめ表現 他教科等で培った表現力等を生かし、課題に沿って理由付けしながら相手に応じて分かりやすく表現することができる。	自分達の関心から課題を決め、解決方法や未来に残したいもの、魅力を発信するための方法を具体的に順序立てて構想することができる。	多様な方法で情報を収集し、情報を蓄積することができる。	目的や意図に合わせて、情報収集の手段を選択し、情報を適切に蓄積することができる。	問題状況の中から課題を発見、設定し、解決の方法や手順を客観的なデータをもとに考え、見直しをもって計画を立てることができる。
	・自分自身や自分の生活について考える。(分析的に考える)	見付ける、比べる、例えるなど(創造的に考える)	試す、見通す、工夫するなど	・気付いたこと、楽しかったことなどについて、多様な方法によって他者と伝え合ったり、振り返ったりする。(表現する)	言葉、絵、動作、劇化など	適切な思考ツールなどを選んで情報を整理し、情報と情報がどのような関係にあるか見いだすことができる。	収集した情報を比較したり関連付けたりして、共通点や差異点を見付けたり確かな理由や根拠をもたせたりすることができる。	収集した情報の視点を定めて分析したり、因果関係を推測したりすることができる。	
	・思いや願いに基づいて、身近な人々、社会及び自然に、自ら働きかける。	自己理解 探究活動の中で、自分や友達の考えそれぞれによさがあることを知り、学び合おうとする。	他者理解 身近な人と協力して課題を解決しようとする。	主体性協働性 自分と身近な実生活・実社会の問題解決に他者と協働して進んで取り組もうとする。	将来展望 村との関わりの中で、自分にできることを見付けようとする。	自分と身近な実生活・実社会の問題解決に他者と協働して進んで取り組もうとする。	探究的な活動を通して、自分の生活を見直して、自分の特徴やよさを理解しようとする。また、異なる意見や他者の考えを受け入れて尊重しようとする。	自分の意思で、目標をもって課題解決に向けた探究活動に取り組もうとする。他者と協働して取り組もうとする。	
	・思いや願いを明確にして、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしたりしようとする。					探究活動を通して、自分自身を理解し、他者の考え等を受け入れ尊重しながら学び合おうとする。	探究活動を通して、自分の生活を見直して、自分の特徴やよさを理解しようとする。また、異なる意見や他者の考えを受け入れて尊重しようとする。	探究的な活動を通して、自己の生き方を考え、夢や目標をもととする。探究的な活動を通して、進んで実社会・実生活の問題解決に取り組もうとする。	

【学習活動】
 ・地域や児童生徒の実態を踏まえた探究的な活動の充実
 ・児童生徒が自ら発信、取り組みたいような学習活動の充実
 ・地域の「人・もの・こと」(外部人材の活用)を生かした学習活動の充実
 ・コミュニティ・スクールを活用した学習活動の充実

【指導方法】
 ・各教科等と関連した指導の重視
 ・個に応じた指導の工夫
 ・思考ツールの活用
 ・学習内容によっては SDGs を意識し、持続可能な社会について考える機会の設定
 ・各教科との関連を意識した学習活動の展開
 ・資料(図、写真、グラフ等)を活用した言語活動の工夫
 ・協働的な学習活動の充実

【指導体制】
 ・9年間を見通した小中のカリキュラム編成
 ・小中の関連、連携を意識した指導
 ・小中の協働、支援体制の構築
 ・校内研修等で学期ごとに計画の進捗状況を確認し、計画を調整
 ・地域の人材や他機関の効果的な活用
 ・ティームティーチングの日常化

【学習評価】
 ・児童生徒の自己評価、相互評価
 ・個人の姿容を重視した個人内評価
 ・指導計画の見直し
 ・学期末、学年末における指導計画の評価の実施
 ・学習アンケートの集計、分析等による次年度への計画の練り直し
 ・制作物による評価の実施
 ・観察による評価の実施
 ・ポートフォリオを活用した評価の充実

【各教科等との関連】

各教科等	特別の教科 道徳	特別活動
<ul style="list-style-type: none"> 授業スタンダードに基づいた主体的・対話的・深い学びの授業づくりを推進する。 探究的な学びに活用できる見方・考え方を働かせた授業を行う。 活用、発揮できる知識・技能を習得できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 郷土を愛する心と豊かな人間性を育成する。 さまざまな事象を自己との関わりで広い視野から多面的、多角的に考え、自己の生き方について考えることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己の生き方についての考えを深め、自己の魅力を生かして表現することができるようにする。 集団活動から互いのよさや可能性を発揮し、生活上の課題を解決することができるようにする。